

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2008-205723(P2008-205723A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-38260(P2007-38260)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

H 0 1 L 27/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 D

H 0 4 N 5/225 E

H 0 4 N 5/335 V

H 0 1 L 27/14 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホルダの背面側に配置され、前記ホルダの開口部を覆う光学部材と、
前記光学部材の背面側に配置されている撮像素子と、
前記ホルダに固定され、前記撮像素子を前記光軸上になるように保持する保持部材と、
弾性部材であって、前記撮像素子を囲うように配置されている撮像素子保護部材とを備え、

前記撮像素子保護部材は、前記光学部材の縁部と対向する内縁部および前記保持部材に
対向する外縁部を有し、前記内縁部が前記光学部材の縁部と、前記外縁部が前記保持部材
とそれぞれ当接するように前記光学部材と前記保持部材との間に配置され、

前記撮像素子保護部材、前記光学部材および前記保持部材は、互いに共働して、前記撮
像素子を外部と遮断可能に収容する収容空間を形成することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記撮像素子保護部材の前記外縁部は、該外縁部と前記ホルダとの間に配置されている
少なくとも 1 つの押圧部材により前記保持部材に向けて押圧されていることを特徴とする
請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記撮像素子保護部材は、前記光学部材と前記保持部材との間で弾性変形し、前記光学
部材を前記ホルダに向けて押圧することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記撮像素子は、接着剤で前記保持部材に固着され、前記撮像素子と前記保持部材との
接着部は、前記撮像素子保護部材、前記光学部材および前記保持部材により形成される前
記収容空間内に収容されていることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記保持部材と一体的に保持され、前記撮像素子との間で信号の送受を行う信号伝送部

材を備え、

前記撮像素子保護部材の前記外縁部は、前記保持部材および前記信号伝送部材の少なくとも一方に当接することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、上記目的を達成するため、ホルダの背面側に配置され、前記ホルダの開口部を覆う光学部材と、前記光学部材の背面側に配置されている撮像素子と、前記ホルダに固定され、前記撮像素子を前記光軸上になるように保持する保持部材と、弾性部材であって、前記撮像素子を囲うように配置されている撮像素子保護部材とを備え、前記撮像素子保護部材は、前記光学部材の縁部と対向する内縁部および前記保持部材に対向する外縁部を有し、前記内縁部が前記光学部材の縁部と、前記外縁部が前記保持部材とそれぞれ当接するように前記光学部材と前記保持部材との間に配置され、前記撮像素子保護部材、前記光学部材および前記保持部材は、互いに共働して、前記撮像素子を外部と遮断可能に収容する収容空間を形成することを特徴とする撮像装置を提供する。